

## 平成24年度射水市行財政改革推進会議（第2回）議事要旨

- 1 開催日時 平成24年8月22日（水） 午前10時～午前11時10分
  - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎401会議室
  - 3 出席者
    - (1) 推進会議委員  
荒木委員、荒谷委員、奥田委員、尾山委員、田中委員、中村委員、福島委員、  
牧田委員
    - (2) 当局  
副市長、教育長  
事務局：行政管理部長、行政管理部次長、財政課長、人事課長、人事課長補佐、  
人事課員3名
  - 4 傍聴者等 なし
- 

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 題
  - (1) 事務事業評価（1次評価）の結果について （資料1）
  - (2) 外部評価について
    - ① 外部評価の概要 （資料2-1）
    - ② 対象事業の選定 （資料2-2）
    - ③ 評価グループの構成等 （資料3、4）
    - ④ 評価シートの見方 （資料5）
  - (3) 事務事業評価（2次評価）について （資料6）
  - (4) その他
- 4 閉 会

《主な意見等》

事務事業評価（1次評価）の結果について

（特に意見なし）

外部評価について

（会 長） 候補事業として13事業を選定した基準はあるのか。

（事務局） 選定基準は資料に記載のとおりであるが、客観的な基準の中でも「外部の意見を拝聴したい事業」を中心に選定した。

（委 員） 「ふれあいサロン運営事業」は、各地域において小グループで行っている「地域ふれあいサロン」も含むのか。

（事務局） 新湊地区2か所、小杉・大門・大島地区1か所ずつ、計5か所のサロンのみである。

（会 長） 1次評価の結果とは関係無く候補事業が選定されているが、どちらかというと、A評価で「行政として現行どおり続ける」としている事業を、「外部の目から見たら果たしてどうなのか」という所も、外部評価の一つの役割である。

（会 長） 事業数はこれが上限か。

（事務局） 委員のスケジュール等の関係から、これが上限である。

（委 員） 昨年度の外部評価によって、1次評価が変わった事業はあるのか。

（事務局） 評価は3年サイクル（3年ごとに1回の評価）のため、昨年度の評価対象事業は再来年度まで内部（1次）評価は行わない。ただし、今後の事業執行に反映させるため、予算編成において外部評価の意見を参考にしている。

（会 長） 外部評価結果が「廃止」や「規模の縮小」の場合、メッセージとしてははっきりしているが、「在り方を考えるべき」、「データを集めた上で検討」といったものは、具体的な形になるのは少し時間が掛かると思う。

（委 員） 候補事業以外で、C評価となっている「福祉入浴券交付事業」は少し目を配る必要があると思う。入浴券の利用について、チェック機能を働かせる必要があると思う。

（副市長） 私共が外部評価をお願いしたい事業は、自己評価のため甘い点数を付けて

いる心配があるA評価の事業である。C評価の「福祉入浴券交付事業」には実施方法等に色々な問題があることを十分認識し問題意識を持っているため、今回は外部評価の対象とせず、内部で改善していきたいと思っている。

(委員) 射水市総合計画に掲げる「主な取組」が「事務事業」に当たるということであれば、その項目自身はどこで評価されていくのか。

(会長) それは射水市総合計画自身のプランニングの部分である。「政策、施策、事務事業」の階層において、当会議としては「事務事業」レベルで評価することになる。その場合、「施策」自身は既に我々に与えられているものと考え、一番現場のレベルでの「事務事業」を立ち位置にして、上位の施策との関係も踏まえながら、「事業の効果、成果、進め方」を評価していくことになると思う。

(副市長) 「より上位の「施策」レベルの考え方に適合する事務事業であるか」を評価することになる。

(会長) 事務局から提案のあった13事業を私達で外部評価することでよいか。

(各委員) 異議なし。

(会長) 事前質問をきっちりやっておかないと実のある評価はなかなかできないと思うので、各委員で取り組んでいただきたい。また、担当課に対しては、事前にデータのものは揃えていただきたい。

#### 事務事業評価（2次評価）について

(会長) 我々が実施する外部評価についても、翌年度予算要求時に評価結果を反映させた点等を記載する「外部評価等調書」の提出を求めるのか。

(事務局) そうである。